令和2年度 学校経営シラバス（上士幌高校）

学校の現状

- ①創立69年 全日制普通科2間口
生徒数 151名 (R2. 2. 12現在)
- ②少子化に伴う生徒数の減少
(上士幌町出身者18%前後、帯広・音更、他の出身者が全体の80%以上)
- ③進学から就職希望へ増加傾向
令和元年度:進学者 29名【大学 4名・短大 5名・各種 専門学校 25名】就職者 32名他 2名
- ④部活動加入率の減少

学校の課題

- ①授業改善(浮きこぼれ生徒への対応・工夫)の推進
- ②新学習指導要領完全実施に向けた確実な準備と移行
- ③基礎学力・体力の定着と自ら学ぶ意欲の向上
- ④教職員の心身の健康を損なうことのない働き方改革の推進
- ⑤地域とともにある学校づくり

学校の課題解決に向けた方策

- ①ICTを活用して新しい学習指導要領の学びの重点化を推進する
- ②ICTを活用した授業改善
- ③業務内容の精選(スクラップ&ビルド)
- ④学校運営協議会の活性化

校訓 敬愛 創造 自律

学校教育目標

未来を切り拓く人間性豊かな人を育てる

教育の指標

思いやりの心を持ち、自ら考え、自ら学び、自ら行動する人となろう

地域から本校への期待

- ・自ら挨拶のできる生徒の育成 (主体性)
- ・地域への活動に積極的に参加する生徒の育成 (地域貢献)
- ・地域を学び、地域のために貢献できる生徒の育成 (郷土愛)

学校経営方針

- 1 生徒の進路目標の実現に向けた教育活動を展開する。
- 2 地域に信頼され、地域とともにある学校づくりを進める。
- 3 全ての教職員が健康で働きがいを感じる職場環境の構築。

めざす学校像

- ・長期
 - 十勝管内北部小規模校の準進学校化
- ・短期・中期
 - 国公立大学への進学実績の向上
 - 地域とともにある学校
 - 部活動の活性化
 - 2間口の維持

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

具体的な方策(長期)

- ①主要教科の習熟度別授業への移行
- ②研修(校内外)による教科指導力の向上
- ③進学講習等の改善
- ④各種検定・資格などの上位級の合格者数の向上
- ⑤部活動など、地域人材の有効活用

具体的な方策(短期・中期)

- ①模試と関連した進学講習
- ②大学訪問などによる進学意識の醸成
- ③地域貢献
- ④情報発信
- ⑤管理職・教諭による中学校訪問

OPTA(父母と教師の会) ○クラブ後援会 ○同窓会 ○北海道上士幌高等学校振興会